

## 別添6

### Q16:本アンケートに対するご意見（全 429 名中、無回答 313 名を除いた 116 名／一部割愛）

- ・ご担当者様のご努力、敬意を表します。がんばってくださいませ。
- ・有りません。結果を楽しみにしております。よろしくお願いいたします。
- ・手書きのメリットは、しっかりと吟味しつつ電子カルテを作成していただきたい。
- ・各協会で使っている物があれば参考にしたい。
- ・以前の職場を元に回答しています。最も多かったのは廃用症候群、脳血管疾患後遺症、パーキンソンなどで変形徒手を多用していました。現在の病気も大事ですが、既往歴も重要なアプローチポイントになります。そういう部分をカバーしやすいカルテにはなかなか出会えていないです。Web アプリケーション電子カルテなど大変興味のあるところでは是非多様性に耐えうるいいものを作って欲しいです。
- ・できるだけ早い電子カルテ化を望む
- ・電子カルテを何度か試みたが、入力事項が多いため、手書きの方が早くて、図式も書けるため、電子カルテは諦めた。
- ・とても良い取り組みありがとうございます！宜しく願い致します。
- ・個人情報以外の部分を業界内で統計データとして活用できるようになると良いと思います。
- ・カルテに関しては、リーズナブルなコストで標準化するのは難しいと思います。それぞれの流派や施術者の考え方によって記録したい内容が異なるためです。また、おそらく月々の使用料やバージョンアップ時のコスト負担などが起こると想定しますが、収益が限定的な施術者にとっては大きなハードルとなります。
- ・いろいろな電子カルテが出ていますが、既に使用している先生方のデータが全部取り込めるようなものにしてください。つながるカルテは移行できるけど、他の電子カルテからは移行できないなどとなれば、電子カルテ会議はすでに出遅れている、意味がないものになってしまいます。成果を期待しています。
- ・調査回答結果が気になりますので、できればネットで情報公開してください。
- ・鍼灸独自の電子カルテがぜひ欲しいです。
- ・鍼灸師が共有できるカルテが早く出来る事を希望します。
- ・研究を進めていただき鍼灸術の発展に貢献していただければと思います。ご苦労様でした。
- ・東洋医学的治療と現代医学的治療では大きく異なるので、病院よりも更に電子カルテ共有は難しいと考えます。
- ・鍼灸師のカルテ記載が電子カルテ化するようになればいいと思います。宜しく願い致します。
- ・お疲れ様です。宜しく願いいたします。

- ・統一電子カルテが公開されるようなら、スクリーンリーダーにも対応して欲しい。レセコンソフトと連携して欲しい。
- ・電子化は反対です
- ・いろいろな会社が電子カルテを出しているが、どこを使えばよいのか早く決めて統一してほしい。
- ・お役に立てるかわかりませんが、鍼灸業界の発展に繋がればと思います
- ・各団体が一つの塊となり、マッサージ鍼灸業界を引っ張って言ってほしいです。カルテの情報を蓄積しての研究もそうですが、各団体が一つになり研究にお金を投じ、専門として研究し続ける機関や人材を育成、教育していく必要があるはずです。
- ・患者さんの処方箋や画像の取り込み、主訴、所見、施術内容の画像取り込みやスタイラスペンで記載できる機能が欲しいです。
- ・所属団体別の傾向の集計にとっても興味があります。
- ・電子カルテが普及し、鍼灸のビッグデータが作れるようになればいいと思います。そのために着々と準備が進んでいると感じました。
- ・電子カルテを使える環境にあるのですが、移行できていません。項目や内容が統一され、ベッドサイドでも携帯しやすく簡便なカルテ専用タブレットなどがあれば、いいかもしれません。
- ・アンケートをまとめてくださりありがとうございます。
- ・鍼灸カルテの電子化がスムーズに行われ、普及するよう祈っております。
- ・期待しています
- ・これからもアンケートに協力させていただきます。鍼を収入の為ではなく命の為に使いたい。ノーベル賞以降の鍼への医者注目度と発展が目覚ましいにもかかわらず残念です。
- ・様々な流派や考え方の鍼灸師がおり、それらすべてを満たすことは不可能だと思います。ただ、使えるカルテにするには、基本的な共通項目以外は自由にカスタマイズする事ができ、ポストレジ機能、レセプト機能、顧客管理機能、写真や動画を紐づけできる、色んな型の問診票、調査票が組み合わせられるなどが求められると思います。大変な作業だとは思いますが、大いに期待をしていますのでよろしくお願いいたします。
- ・業界の統一的なカルテをベースにカスタムできるのがあると良いと思う。また、紙で出して俯瞰的に確認する、資料として使うとかできるとなお良いと思う。
- ・ICD-11 に役立つ、共通の電子カルテを希望します。電子カルテが難しいなら統計調査方式でもいいので、ICD-11 が他国や漢方だけのものにならずにすむよう、学会で検討していただきたいです。よろしくお願いいたします。
- ・学校の教員はあまりカルテを書かないのが不思議。(その割に学生には厳しい指導をしている。)
- ・カルテの内容をこのアンケートに完全に反映させるのが難しかったです。

- ・最初叩き台のカルテデッサンを見せてほしい
- ・保険適応を増やし、保険請求を簡単にしたい
- ・当院では病院カルテシステムの中に鍼灸診療内容を記載しているため、細かな項目設定が難しく、どうしても自由記述方式になってしまいます。また、実際には診察、治療では細かな項目まで用いていますが、診療体系によって記述する内容や方法が異なるため、大雑把な項目での設定としています
- ・最新情報等専門的知識の習得について勉強になりました。
- ・医療連携などで電子カルテの必要性が出てきていると思うが、西洋医学との連携を意識しすぎて、現代医学寄りの内容しか記録できないカルテになるのは良くない。東洋医学的な項目、使用した経絡、ツボ名、証などの記録がしやすいフォーマットが欲しい。とはいえ、様々な治療法をしている先生が多いので、フリーフォーマットにならざるを得ないのかもしれない。その場で記録用に撮った画像などを保存できるとより良い。事前に患者さんに入力してもらった問診表もカルテに保存しているが、問診表の項目もとても大事でカルテと合わせて見る事が出来る構成だと良い。
- ・あはき法に診療録記載の義務、応召義務項目追加希望。なお良いのは卒後研修の義務化を行い診療録管理もできると良い。
- ・早く電子カルテを導入したいと願っています。
- ・今後、鍼灸にも電子カルテが導入されるのでしょうか？
- ・データを集めることで、どのような未来が拓けるのか。一般鍼灸師にむけてビジョンの共有をしていくことが、大切なように感じます。(例えば、医療ガイドラインに鍼灸が推奨されるようにデータを集めるなど)
- ・あん摩もお願いします。
- ・電子カルテの完成を楽しみにしております。
- ・電子カルテに移行した場合、PCのトラブルでカルテを見られなくなる不安
- ・同意書がなくなりますように。
- ・電子化で専用の回線料が高ければ、クラウド上の共通カルテは利用されないと思う。
- ・電子カルテに変わると、その施術所にどのようなお悩みの患者様が来ているかわかりやすく、臨床実習に入るまでに上位の疾患を最低限施術できるようにするなど、対処ができると思います。
- ・使用しているカルテは基本的に主訴と氏名・住所などの基本情報以外は自由に記述できるようになっています。ですので、特に項目というのはありません。
- ・電子カルテの仕様の構築について、期待しております。
- ・当院のカルテは卒業校で使用していたものを改良して使用しています。電子カルテを各社が導入する中、紙ベースのカルテは出張施術では有用なので、販売されているものや大学病院等で公開されているもの以外のカルテに興味があります。

・お疲れ様です

・教育機関で扱う診療録については、できれば全校で統合できたらいいなと思います。そうすれば、全学校で育成の方向性や課題、目標がある程度共通化されると思います。

・アンケート結果のフィードバックを確認できる方法を構築していただきたい

・ありがとうございます。よろしくお願いします。

・1. 鍼灸のカルテ記載が義務化になり、公文書として証拠能力のあるものとなってほしい。2. 電子カルテ化も義務化して欲しいが、それにおけるカルテのバックアップ含めさまざまなセキュリティ課題を克服してほしい。病院がハッキングされ、ランサムウェアで身代金を要求される時代、鍼灸師全体の web セキュリティのリテラシー、および web セキュリティ教育を促進しなければ、電子カルテ化は先だと感じます。また、ランサムウェア被害(個人情報流出)を受けた際の患者への補償含め、保険の活用も考えてほしい。

・医師向けもそうですが、電子カルテの互換性が無いため、困る。

・30 年前開業した時に鍼灸師会の作成した紙カルテを使用したが、まったく使い物にならなくて、結局自作のカルテを作りました。今回のアンケートで何を求めているのかわかりません。まだ始めたばかりだからかもしれませんが、電子カルテを作ることは最終理想だが、治療形態がバラバラなのからどうにかしないと、形だけの電子カルテになり、結局意味がなくて皆は使用しないでしょう。また、医学部や歯学部はある態度のマニュアルがあるし、ある程度の検査数値が正確だから電子カルテの必然性があるのです。しかし、鍼灸は数値で記載できません。脈診や腹診だといいますが、測定者の個人差があるので、他人が観測したものをそのまま信じることができますか？

電子カルテを作ることも今から鍼灸が医学として認められるために必要なことだとも思いますが、鍼灸師の診察と施術技術を信じられるものにして学校を卒業させて欲しい。また、まとめられるような治療方法を学術部や学校関係で確立して欲しい。それでない、私たちが今から面倒な思いをして電子カルテを使う利点がないです。

電子カルテの利点の1つは、他の治療師に患者の治療を任せる時に便利だということですか？しかし、針を施術した場所や針の太さや深さだけを伝えて、自分と同じ治療ができないので、もし治療を任せることがあっても、その施術師のことをよく知っている人にしかできません。薬とは違うのです。ただ投薬すればいいというものではありません。それとも、学術部や学校関係者が治療方法を確立するための資料を集めるための電子カルテなのですか？それならそうと、電子カルテを作る目的を私達にも教えて欲しい。で、そのための具体的な記載法をまとめてください。鍼灸治療をカルテに記載するのは大変な作業です。簡単なものではありません。経費を使い時間を使っても電子カルテを使う利点がないなら、私は使いたいとは思いません。また電子カルテができれば、その利点を紹介して売り込まないと皆は使わないと思います。

学術関係者が治療方法をまとめるのは困難なことは理解できます。しかし、治療方法の確立のた

めの努力と、治療師の技術を一定にしてくれる努力はして欲しいです。そこを並行して電子カルテを作成してってください。

- ・鍼灸業界のためにも、電子カルテを導入したいと思いますが、経費もかかるであろうし、そこが難しいと考えてしまいます。

- ・電子化に伴うカルテの標準化は、今後の鍼灸医療のあり方や効果判定の科学化などを考えると、意義あることと思います。カルテによる病体の客観的把握と、鍼灸による技術的対応にバランスがとれて、治癒力が高くなることが望まれます。とくに鍼灸による内科疾患へのアプローチは、高度な医学的認識と技術力が求められます。ご健闘を期待します。

- ・カルテは記入が楽なのがいいです

- ・クラウドに保管できる電子カルテを安く導入したいです

- ・鍼灸の業界で共通して使えるカルテを作るのであれば古典的治療～現代まで幅広く流派があり限界があるように感じます。そこをどのように解決してスタンダードなカルテがあると良いと思います。

- ・良い統一カルテが出来るようにお願いいたします。頑張ってください。

- ・Windows か MacOS か iPadOS など、そしてスクリーンリーダー対応などは基本概念がまとまってからのソフト制作になるので今のところ先の話ではあるものの、複数の端末から使えるようにするのか単独にするのかはまず基本設計の段階で決定しておいたほうが良いと思われる。大阪の病院での被害を考えると、せいぜい院内 LAN までのほうが無難に思われる。そして本格導入を推進するとき、現在まで使ってきている電子カルテのデータをどのようにして引き継げるようになるのかが、一番の障壁に思われる。

- ・今後とも仕事がやり易い状況をお願いします

- ・鍼灸施術録を整えるために、必要とされていると思いますので、今後も継続されることを願います。

- ・電子カルテが普及してほしいと思います。

- ・早期に電子カルテにしなければ時代に取り残されると思います

- ・病鍼連携連絡協議会で電子カルテやってますね。勉強会も盛んです。全国レベルで広がると思います。

- ・保険適応範囲の拡大と容易化

- ・鍼灸按摩柔整の世界は複数の業態が有り、それぞれ勝手が異り大変かと思いますが、業界の地位の向上のため宜しく願い申し上げます。

- ・現代医学的なカルテだけでなく、東洋医学(経絡治療)の電子カルテができると大変助かります。

- ・ICD に対応した電子カルテと共有を、学会で考えてほしい。自分は現在対応できるカルテ記載ではないが、改善し、積極的に参加する意思はあります。

- ・電子カルテの推進について全鍼灸マッサージ師が導入するのであれば、療養費を網羅して医師側と未来的に連携できるものにして欲しいと思います。あとは会議や進捗状況については順次情報公開して欲しいと願います。
- ・病鍼連携に使える、情報提供書とリンクする様式を加えて頂ければ。
- ・お取りまとめ大変だと思いますが、一定の見解が報告されることを楽しみにしております。
- ・全国共通の電子カルテをぜひ製作し、データをとってエビデンスを確立してください。iPad に対応していると使いやすいと思います。1 台のパソコンでモニター2 台使用しているので、カルテを 2 人分画面に開けるようにして欲しい。
- ・非常に大事なことと思います。良い結果を期待しております。
- ・電子カルテは、設備に固定資産税がかかるし、個人情報管理の為の対策が必要になるので、1 人で治療しているのなら、紙のカルテの方が良いと思う。
- ・みんなのデータを集めて医学的根拠に基づく治療法に役立つようにしてもらいたいです。近隣の病院、施設とのカルテ共有できるといいなあとと思います。
- ・電子カルテに関する設備投資が問題
- ・はり師・きゅう師に加え、あん摩マッサージ指圧師資格も保有されている方の鍼灸とあま指施術の併用も対応できれば尚良いのでは？と思います。
- ・電子カルテを実施したからと、直ぐにカルテ内容が統一されることは難しいが、まず始めることが大切だと考える。
- ・是非とも、このアンケート結果の報告の発表をお願いしたいと思います。
- ・電子カルテ導入は不可能と思われる。カルテをベッドサイドで見ながら施術するのに、タブレットは極めて不便。落としたり壊れるし。
- ・職歴を問う項目があつていいのではないか。最初から我流か、どこかのやり方を受け継いだものか、医療関係や教育機関関係に従事していたか否か、などでも違ってくと思う。
- ・自由記載が多いのでちょっと手間
- ・若い民間の AI データを駆使した力を活用して使いやすく、すぐに変更に対応してくれるものでないと、電子カルテも普及しないと思います。
- ・鍼灸業界が時代に遅れている事このアンケートから現実としてわかりました。
- ・研究結果のご発表、お待ちしております。よろしく願い申し上げます。